

翔陽 高等学校 令和6年度（1学年用）教科

国語 科目 言語文化

教科：国語 科目：言語文化

単位数：2 単位

対象学年組：第1学年 1組～6組

使用教科書：（東京書籍 精選言語文化）

教科 国語 の目標：

【知識及び技能】生涯にわたる社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使うことができるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】生涯にわたる社会生活における他者との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を伸ばす。

【学びに向かう力、人間性等】言葉のもつ価値への認識を深めるとともに、言語感覚を磨き、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、生涯にわたり国語を尊重してその能力の向上を図る態度を養う。

科目 言語文化 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身につけるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようにする。	論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域		評価規準	知	思	態	配当 時数
		話・聞	書 読					
A 単元 【知識及び技能】 現代仮名遣い・歴史的仮名遣い・発音にしたがうカタカナ表記等に注意させる。 【思考力、判断力、表現力等】 「八行転呼音」「長音の区別」について特に注意を促すために演習に取り組ませる。 【学びに向かう力、人間性等】 古典学習の導入として興味関心をもたせる。	・指導事項 歴史的仮名遣いの読み方を理解し、正確に読めるようにする。 ・教材 「古典学習のしるべ」	○	○	○				1
B 単元 【知識及び技能】 説話の背景を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 単語の意味や古典的な表現に注意して口語訳し、登場人物の言動をよみとる。 【学びに向かう力、人間性等】 国語図説等の資料を利用して、説話というジャンルについて理解を深める。	・指導事項 歴史的仮名遣いについて理解し、説話の面白さを読み取る。 ・教材 「兎のそら寝」「絵仏師良秀」	○	○	○				8
1 学期 定期考査					○	○		1
C 単元 【知識及び技能】 単語の意味や古典的な表現に注意して口語訳し、登場人物の言動から、筆者の主張をよみとる。 【思考力、判断力、表現力等】 話の内容を把握し、全体の構成と段落の関係をつかむ。 【学びに向かう力、人間性等】	・指導事項 話のあらすじを読み取り、筆者のいうところの「戒め」について理解する。 ・教材 「ある人、弓射ることを習ふに」	○	○	○				8
D 単元 【知識及び技能】 小説の基本設定を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 登場人物の内面的変化を、そのきっかけと関連づけて読み取る。 【学びに向かう力、人間性等】 翻案作品と原作を読み比べ、相違点から時代背景や筆者のテーマの中心について考える。	・指導事項 ・教材 「羅生門」 ・一人1台端末の活用 等	○	○	○				4
定期考査					○	○		1

2 学 期	E 単元 【知識及び技能】 漢文および訓読とは何かについて基礎知識を持つ。 【思考力、判断力、表現力等】 故事成語の背景を知り、漢文への興味・関心を持つ。 訓読・書き下し文・現代語訳ができるようにし、調点を施せるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】	・指導事項 漢文訓読に関する基本的な知識および漢文の基本構造について確認する。 ・教材 「訓読の基本」「矛盾」「虎借威」	○ ○ ○	○ ○ ○	○ ○ ○	○ ○ ○	○ ○ ○	7
	C 単元 【知識及び技能】 単語の意味や古典的な表現に注意して口語訳し、表現技法や論理的な展開から、筆者の考える「無常観」について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 話の内容を把握し、対句や比喩など独特な表現に注意しながら、全体の構成と段落の関係をつかむ。 【学びに向かう力、人間性等】 「羅生門」の下敷きになっている時代背景について、視覚資料等を確認する。	・指導事項 ・教材 「方丈記」 ・一人1台端末の活用 等	○ ○ ○	○ ○ ○	○ ○ ○	○ ○ ○	○ ○ ○	7
	定期考査					○ ○	○ ○	1
	C 単元 【知識及び技能】 単語の意味や古典的な表現に注意して口語訳し、主人公の置かれた立場や心情について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 それぞれの土地の様子が地の文や和歌の中でどのように描かれているか理解する。 【学びに向かう力、人間性等】 絵巻物の構造について理解する。	・指導事項 ・教材 「伊勢物語」 ・一人1台端末の活用 等	○ ○ ○	○ ○ ○	○ ○ ○	○ ○ ○	○ ○ ○	7
D 単元 【知識及び技能】 心を言葉にして届けるとはどういうことかを自分の体験をもとに考えてみる。 【思考力、判断力、表現力等】 恋心や愛情を題材とした短歌について、表現のねらいについて考察する。 【学びに向かう力、人間性等】 それぞれの歌人の他の作品について、印象的な歌を紹介してみる。	・指導事項 ・教材 「言葉をお届け」	○ ○ ○	○ ○ ○	○ ○ ○	○ ○ ○	○ ○ ○	4	
定期考査					○ ○	○ ○	1	

<p>C 単元 【知識及び技能】 日記文学として作品の概略を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 それぞれの土地の様子が地の文や和歌の中でどのように描かれているか理解する。 女性に仮託するという設定について理解する。 【学びに向かう力、人間性等】 筆者の置かれていた立場や仮名文字普及への意欲について理解する。</p>	<p>・指導事項 ・教材 「土佐日記」 ・一人1 台端末の活用 等</p>	○	○	<p>【知技】 ・言葉には、文化の継承、発展、創造を支える働きがあることを理解している。 ・我が国の言語文化に特徴的な語句の量を増し、それらの文化的背景について理解を深め、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 ・文章の意味は、文脈の中で形成されることを理解している。 ・古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解している。 ・時間の経過や地域・文化的特徴などによる文字や言葉の変化について理解を深め、古典の言葉と現代の言葉とのつながりについて理解している。 【思判表】 ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉えている。 【主】 ・進んで歴史的仮名遣いについて理解し、学習課題に沿って説話のおもしろさを読み取ろうとしている。</p>	○	○	7
<p>3 学期 J 単元 【知識及び技能】 語句・句法の意味、用法に注意して、本文の内容を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 登場人物の発言を理解し、言動から態度の変化を整理する。 【学びに向かう力、人間性等】 時代背景について調べ、名宰相としての晏子の人物像をまとめる。</p>	<p>・指導事項 ・教材 「晏子之御」</p>	○	○	<p>【知技】 ・言葉には、文化の継承、発展、創造を支える働きがあることを理解している。 ・我が国の言語文化に特徴的な語句の量を増し、それらの文化的背景について理解を深め、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 ・文章の意味は、文脈の中で形成されることを理解している。 ・古典の世界に親しむために、作品や文章の歴史的・文化的背景などを理解している。 ・時間の経過や地域・文化的特徴などによる文字や言葉の変化について理解を深め、古典の言葉と現代の言葉とのつながりについて理解している。 【思判表】 ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉えている。 ・「読むこと」において、作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈を深めている。 ・「読むこと」において、作品の内容や解釈を踏まえ、自分のものの見方、感じ方、考え方を深め、我が国の言語文化について自分の考えをもっている。 【主】 ・進んで話の展開や登場人物の言動を読み取り、学習課題に沿って、史話のおもしろさを味わおうとしている。</p>	○	○	8
<p>D 単元 【知識及び技能】 小説の基本設定を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 雨漏りに対する登場人物のとらえ方の差から、齧の心情をくみ取る。 【学びに向かう力、人間性等】 翻案作品と原作を読み比べ、相違点から時代背景や筆者のテーマの中心について考える。</p>	<p>・指導事項 ・教材 「雨漏りの音」</p>	○	○	<p>【知技】 ・言葉には、文化の継承、発展、創造を支える働きがあることを理解している。 ・常用漢字の読みに慣れ、主な常用漢字を書き、文や文章の中で使っている。 ・我が国の言語文化に特徴的な語句の量を増し、それらの文化的背景について理解を深め、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 ・文章の意味は、文脈の中で形成されることを理解している。 ・我が国の言語文化への理解につながる読書の意義と効用について理解を深めている。 【思判表】 ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉えている。 ・「読むこと」において、作品のや文章に表れているものの見方、感じ方、考え方を深め、我が国の言語文化について自分の考えをもっている。 【主】 ・進んで本文の内容や構成、展開を的確に捉え、学習課題に沿って、登場人物の心の動きを読み取り、人間関係のあり方について考えようとしている。</p>	○	○	4
<p>定期考査</p>					○	○	1
合計							70

翔陽 高等学校 令和6年度（1学年用） 教科 国語 科目 現代の国語

教科：国語 科目：現代の国語 単位数：2 単位

対象学年組：第1学年 組～組
 使用教科書：（東京書籍 精選 現代の国語）

教科 国語 の目標：

【知識及び技能】生涯にわたる社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使うことができるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】生涯にわたる社会生活における他者との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を伸ばす。

【学びに向かう力、人間性等】言葉のもつ価値への認識を深めるとともに、言語感覚を磨き、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、生涯にわたり国語を尊重してその能力の向上を図る態度を養う。

科目 現代の国語 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
実社会に必要な国語の知識や技能を身につけるようにする。	論理的、批判的に考える力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させる。我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わりとする態度を養う。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域			評価規準	知	思	態	配当 時数	
		語・聞	書	読						
1 学期	A 自己と他者 【知識及び技能】 文章の効果的な組立て方や接続の仕方について理解を深める。 【思考力、判断力、表現力等】 内容や構成、論理の展開などを的確に捉え、論点を把握する。 【学びに向かう力、人間性等】 主体的に課題に取り組み、考えを深めようとする。	・指導事項 筆者の主張を読み取る。 ・教材 「まだ知らない自分に出会う」松村圭一郎 「屈く言葉」内田樹	○	○	○	・表現の特徴に注意して評論を読むことが出来ている。 ・筆者の主張や考えを的確に捉えることが出来ている。 ・読み取った内容を、自分の言葉で表現することができる。	○	○	○	10
	B 自己と他者 【知識及び技能】 わかりやすい文章に必要な要素を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 内容や構成を考え、ロールプレイを行う。 【学びに向かう力、人間性等】 主体的に課題に取り組み、考えを深めようとする。	・指導事項 説明の目的を明確にする。 説明内容を論理的に整理する。 相手を意識して話す。 ・一台端末の利用 ・教材 分かりやすい説明をする		○		・自己の主張を支える論理的な構成が出来ている。 ・他者に伝えることを意識して、論理的な説明を構成する態度をやしなうことができる。	○	○	○	3
	定期考査						○	○	○	1
	C 認識を深める 【知識及び技能】 文章の構成や展開の仕方について理解を深める。 【思考力、判断力、表現力等】 内容や構成、論の展開などを的確に捉え、論点を把握する。 【学びに向かう力、人間性等】 主体的に課題に取り組み、考えを深めようとする。	・指導事項 筆者の主張を読み取る。 比較から文化や歴史の違いを学ぶ。 ・教材 「今ここにある無数の未知」石川直樹 「水の東西」山崎正和	○	○	○	・表現の特徴に注意して評論を読むことが出来ている。 ・筆者の主張や考えを的確に捉えることが出来ている。 ・読み取った内容を、自分の言葉で表現することができる。 ・比較内容を適切に理解し、筆者がどちらの立場から述べているのか読み取ることができる。	○	○	○	10
	D 言葉と社会 【知識及び技能】 本の魅力を他者に伝える際の構成や発表の仕方を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 内容や構成を考え、発表を行う。 【学びに向かう力、人間性等】 主体的に課題に取り組み、考えを深めようとする。	・指導事項 説明内容を論理的に構成する。 傾聴の姿勢。 ピブリオバトルの実施。 ・教材 本を紹介する		○		・本の魅力を伝えるために、本の内容の要約や論理的な構成が出来ている。 ・他者に伝えることを意識して、論理的な説明を構成する態度をやしなうことができる。	○	○	○	3
定期考査						○	○	○	1	

2 学期	A 言葉と社会 【知識及び技能】 論証や学術的学習の基礎を学ぶために必要な語句の量を増し、語感を磨き語彙を豊かにする。 【思考力、判断力、表現力等】 内容や構成、論の展開などを的確に捉え、論点を把握する。 【学びに向かう力、人間性等】 主体的に課題に取り組み、考えを深めようとする。	・指導事項 筆者の主張を読み取る。 言語や時間など、世界に必要な不可欠な概念について改めて思考する。 ・教材 「言葉は世界を切り分ける」今井むつみ 「時間と自由の関係について」内山節	○	○	○	・表現の特徴に注意して評論を読むことが出来ている。 ・筆者の主張や考えを的確に捉えることが出来る。 ・読み取った内容を、自分の言葉で表現することができる。 ・人間が、世界を言語や時間によって切り分けていることを理解し、文章においてその起源を探究するとともに、問題点を検討することができる。	○	○	○	10
	B 俳句を詠む 【知識及び技能】 季語や型を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 得た知識をもとに、俳句を詠む。 【学びに向かう力、人間性等】 主体的に課題に取り組み、考えを深めようとする。	・指導事項 5・7・5の型 季語 ・教材 現代学生百人一首への応募			○	・俳句の基礎知識を理解したうえで、想いや感覚・考えを俳句に込めて詠むことができる。	○	○	○	3
	定期考査					○	○	○	1	
	C 共に生きる 【知識及び技能】 論証や学術的学習の基礎を学ぶために必要な語句の量を増し、語感を磨き語彙を豊かにする。 【思考力、判断力、表現力等】 内容や構成、論の展開などを的確に捉え、論点を把握する。 【学びに向かう力、人間性等】 主体的に課題に取り組み、考えを深めようとする。	・指導事項 筆者の主張と自分の考えを比較する。 ・教材 「真の自立とは」 鷺田清一	○	○	○	・表現の特徴に注意して評論を読むことが出来ている。 ・筆者の主張や考えを的確に捉えることが出来る。 ・読み取った内容を、自分の言葉で表現することができる。 ・「自立」に対する筆者の主張を読み取り、自分の考える「自立」と比較することができる。	○	○	○	10
D 共に生きる 【知識及び技能】 要約の方法や要約をした際の利点を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 要約をし、基準に沿って相互採点を行う。 【学びに向かう力、人間性等】 主体的に課題に取り組み、考えを深めようとする。	・指導事項 要旨を理解し、文章を要約する。 ・一・台端末の利用 ・教材 「真の自立とは」 鷺田清一			○	・文や文章の効果的な組立て方や接続の仕方について理解を深めている。 ・論点や要旨を把握し、要約文に組み込んでいる。	○	○	○	3	
定期考査					○	○	○	1		
3 学期	A 世界を広げる 【知識及び技能】 論証や学術的学習の基礎を学ぶために必要な語句の量を増し、語感を磨き語彙を豊かにする。 【思考力、判断力、表現力等】 内容や構成、論の展開などを的確に捉え、論点を把握する。 【学びに向かう力、人間性等】 主体的に課題に取り組み、考えを深めようとする。	・指導事項 筆者の主張を読み取る。 筆者の主張と自分の考えを比較する。 ・教材 「白」原研哉 「ものと記号」池上嘉彦	○	○	○	・表現の特徴に注意して評論を読むことが出来ている。 ・筆者の主張や考えを的確に捉えることが出来る。 ・読み取った内容を、自分の言葉で表現することができる。 ・「白」に託された感性を理解し、現代社会における情報には少なからず問題があることを理解する。	○	○	○	10
	B 世界を広げる 【知識及び技能】 問いの立て方や引用の方法を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 立てた問いに対し、適切な方法で論証を行う。 【学びに向かう力、人間性等】 主体的に課題に取り組み、考えを深めようとする。	・指導事項 引用の方法 問いの立て方 反論の予想、検討 適切な情報収集 一・台端末の利用 ・教材 論証してレポートを書く			○	・自己の主張を支える論理的な構成が出来ている。 ・他者に伝えることを意識して、論理的な説明を構成する態度をやしなうことができる。 ・反論を予想し、関連する情報を収集して対策することができる。	○	○	○	3
	定期考査					○	○	○	1	
合計										
70										

翔陽 高等学校 令和6年度（2学年用） 教科

国語 科目 論理国語

教科：国語

科目：論理国語

単位数：2 単位

対象学年組：第 2 学年 1 組～ 6 組

使用教科書：（東京書籍 精選論理国語

）

教科 0

の目標：

【知識及び技能】生涯にわたる社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使うことができるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】生涯にわたる社会生活における他者との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を伸ばす。

【学びに向かう力、人間性等】言葉のもつ価値への認識を深めるとともに、言語感覚を磨き、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、生涯にわたり国語を尊重してその能力の向上を図る態度を養う。

科目 論理国語

の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
実社会に必要な国語の知識や技能を身につけるようにする。	論理的、批判的に考える力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域			評価規準	知	思	態	配当 時数
		話・聞	書	読					
A 単元 評論読解 【知識及び技能】 文章の効果的な組立て方や接続の仕方について理解を深める。 読書の意義と効用について理解を深める。 【思考力、判断力、表現力等】 内容や構成、論理の展開などを的確に捉え、論点を把握する。 【学びに向かう力、人間性等】 主体的に課題に取り組み、考えを深めようとする。	・指導事項 表現の特徴 筆者の主張 ・教材 「いつもそばには本があった」 國分功一郎 「ミロのヴィーナス」清岡卓行	○	○	○	・表現の特徴に注意して評論を読むことが出来ている。 ・筆者の主張や考えを的確に捉えることが出来ている。 ・読み取った内容を文にまとめて表現することができる。	○	○	○	6
B 単元 意見文作成 【知識及び技能】 主張とその前提など、情報と情報との関係について理解を深める。 【思考力、判断力、表現力等】 情報の妥当性や信頼性を吟味しながら、主張を支える適切な根拠をそろえる。 【学びに向かう力、人間性等】 言語によって自分の考えを他者に伝えようとする。	・指導事項 情報の適切な収集 論理的な構成 論理的な表現 ・教材 論理の力 一人1台端末を活用		○		・論証に必要な情報を適切に収集することが出来ている。 ・自己の主張を支える論理的な構成が出来ている。 ・他者に伝えることを意識して、論理的な説明を構成する態度をやしなうことができる。	○	○	○	4
1 学期 定期考査						○	○	○	1
C 単元 評論読解と比較 【知識及び技能】 論証や学術的学習の基礎を学ぶために必要な語句の量を増し、語感を磨き語彙を豊かにする。 【思考力、判断力、表現力等】 文章の構成や論理の展開を理解し、書き手の立場や目的を考えながら内容を解釈する。 【学びに向かう力、人間性等】 文章の比較を通して人間関係の在り方について自分の考えを深めようとする。	・指導事項 問いと主張の関係 評論の比較 ・教材 「分人とは何か」平野啓一郎 「メディアの変容」土井隆義	○	○	○	・言葉には、言葉そのものを認識したり説明したりすることを可能にする働きがあることを理解している。 ・論理の展開を的確に捉え、論点を明確にしながらいずれも要旨を把握している。 ・筆者の主張を読み取り、人間関係について考えを深めようとしている。 ・読み取った内容を文にまとめて表現することができる。	○	○	○	8
D 単元 文章を読み、比較して考えを深める 【知識及び技能】 文章の構成や展開の仕方について理解を深める。 【思考力、判断力、表現力等】 社会的な話題について書かれた文章を参考にして、自分の考えを文章にまとめる。 【学びに向かう力、人間性等】 読み手を意識して、分かりやすい構成を工夫する。	・指導事項 文章を比較して自己の考えをまとめる ・教材 「分人とは何か」平野啓一郎 「メディアの変容」土井隆義		○	○	・異なる論点をもつ文章を比較し、共通点や相違点を整理して論じることができる。 ・自己の主張を支える論理的な構成が出来ている。 ・他者に伝えることを意識して、論理的な説明を構成する態度をやしなうことができる。	○	○	○	5
定期考査						○	○	○	1

2 学 期	E 単元 評論読解 【知識及び技能】 論証や学術的学習の基礎を学ぶために必要な語句の量を増し、語感を磨き語彙を豊かにする。 【思考力、判断力、表現力等】 内容や構成、論理の展開を的確に捉え、論点を明確にして要旨を把握する。 【学びに向かう力、人間性等】 文章中で紹介された考え方をもとに、自分の考えを深める。	・指導事項 要旨の把握 論理的な展開の理解 ・教材 「『リスク』と『リスク社会』」 神里達博 「『環境』とは何か」上柿宗英	○	○	○	・人間、社会、自然などについて、多様な論点や異なる価値観を学び、自分の考えを深めている。 ・文章中で紹介された主張を的確に理解している。 ・文章中で紹介された考え方をもとに、自分の考えを深めようとしている。 ・読み取った内容を文にまとめて表現することができる。	○	○	○	9	
	F 単元 評論の要約 【知識及び技能】 文や文章の効果的な組立て方や接続の仕方について理解を深める。 【思考力、判断力、表現力等】 文章の内容や構成を的確に捉え、要約する。 【学びに向かう力、人間性等】 読み手を意識して、分かりやすく正確な構成を工夫する。	・指導事項 異なる人物の主張の要約 文章の一部の要約 ・教材 「『リスク』と『リスク社会』」 神里達博 「『環境』とは何か」上柿宗英			○	○	・文や文章の効果的な組立て方や接続の仕方について理解を深めている。 ・同じ題材に関する異なる人物の主張をまとめ、論点を把握している。 ・他者に伝えることを意識して、論理的な説明を構成する態度をやしなうことができる。	○	○	○	4
	定期考査						○	○	○	1	
	G 単元 評論読解 【知識及び技能】 論証や学術的な学習の基礎を学ぶために必要な語句の量を増し、語感を磨き語彙を豊かにする。 【思考力、判断力、表現力等】 文章の構成や論理の展開を理解し、書き手の立場や目的を考えながら内容の解釈を深める。 【学びに向かう力、人間性等】 「である」価値と「する」価値について自身に引き寄せて考え、社会に対する理解を深める。	・指導事項 二項対立の論理展開の理解 具体例と主張の関係の理解 ・教材 「『である』ことと『する』こと」丸山真男 「科学的『発見』とは」小川眞理子	○	○	○	・文や文章の効果的な組立て方や接続の仕方について理解を深めている。 ・二項対立の論理展開や具体例と筆者の主張との関係を捉える。 ・「問い」と「主張」という文章の構造を理解し、もの見方や考え方をやしなおしている。 ・読み取った内容を文にまとめて表現することができる。	○	○	○	10	
	H 単元 仮説を立てて検証する 【知識及び技能】 主張とその前提など、情報と情報との関係について理解を深める。 【思考力、判断力、表現力等】 テーマについて情報収集して仮説を立て、論理的な構成を考えて論証する。 【学びに向かう力、人間性等】 積極的に情報収集を行い、読み手を意識して、分かりやすい構成を工夫する。	・指導事項 情報の適切な収集 論理的な構成 論理的な表現 ・教材 仮説を立てて検証する（探究編） ・一人1台端末を活用			○	○	・論証に必要な情報を適切に収集することが出来ている。 ・自己の主張を支える論理的な構成が出来ている。 ・他者に伝えることを意識して、論理的な説明を構成する態度をやしなうことができる。	○	○	○	4
定期考査						○	○	○	1		

3 学 期	I 単元 評論読解 【知識及び技能】 論証や学術的な学習の基礎を学ぶために必要な語句の量を増し、語感を磨き語彙を豊かにする。 【思考力、判断力、表現力等】 資料との関係を把握して、内容や構成を的確に捉える。 【学びに向かう力、人間性等】 身近な絵画や地図に関心を持ち、文章の内容をもとに考えを深める。	・指導事項 論理展開を資料と結び付けて理解する ・教材 「日本人の美意識」高階秀爾 「地図の想像力」若林幹夫	○	○	○	・文や文章の効果的な組立て方や接続の仕方について理解を深めている。 ・二項対立の論理展開や資料と筆者の主張との関係を捉える。 ・文章の内容と資料との関係を把握し、内容や構成を適切に捉えようとしている。 ・読み取った内容を文にまとめて表現することができる。	○	○	○	11
	J 単元 評論の要約 【知識及び技能】 文や文章の効果的な組立て方や接続の仕方について理解を深める。 【思考力、判断力、表現力等】 文章の内容や構成を的確に捉え、要約する。 【学びに向かう力、人間性等】 読み手を意識して、分かりやすく正確な構成を工夫する。	・指導事項 二項対立の論理展開 文章全体の要約 ・教材 「日本人の美意識」高階秀爾		○	○	・文や文章の効果的な組立て方や接続の仕方について理解を深めている。 ・本文全体から主張を根拠をまとめる。 ・他者に伝えることを意識して、論理的な説明を構成する態度をやしなうことができる。	○	○	○	4
	定期考査						○	○	○	1
合計										70

翔陽 高等学校 令和6年度（2 学年用） 教科

国語 科目 古典探究

教科： 0

科目： 古典探究

単位数： 3 単位

対象学年組： 第 2 学年 1 組～ 6 組

使用教科書：（ 東京書籍 精選古典探究 古文編・漢文編 ）

教科 0

の目標：

【知識及び技能】生涯にわたる社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使うことができるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】生涯にわたる社会生活における他者との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を伸ばす。

【学びに向かう力、人間性等】言葉のもつ価値への認識を深めるとともに、言語感覚を磨き、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、生涯にわたり国語を尊重してその能力の向上を図る態度を養う。

科目 古典探究

の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の伝統的な言語文化に対する理解を深めることができるようにする。	論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、古典などを通した先人のものの見方、感じ方、考え方との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の考えを広げたり深めたりすることができるようにする。	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって古典に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域			評価規準	知	思	態	配 時 数
		話・聞	書	読					
A 単元 説話（古今著聞集） 【知識及び技能】 語句の意味や用法、作品の背景となる知識を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 古文特有の表現に注意して内容を的確に捉える。 【学びに向かう力、人間性等】 説話の内容と和歌の関係に関心をもち、二つの和歌の共通点を考える。	・指導事項 語句の意味 助動詞の復習 和歌の修辭 古典常識 ・教材 「能は歌詠み」（古今著聞集）	○	○	○	・古典に用いられている語句の意味や用法を理解している。 ・古典常識の知識を活用して、場面や展開を的確に捉えている。 ・古典特有の表現に注意して内容を的確に捉えている。 ・和歌を含んだ説話の構成を的確に捉え、二つの和歌の共通点や登場人物の対応について考えようとしている。	○	○	○	7
B 単元 小話（十八史略） 【知識及び技能】 語句の意味や用法を理解し、訓読法を復習する。 【思考力、判断力、表現力等】 構成や展開を捉え、もの見方、考え方を深める。 【学びに向かう力、人間性等】 漢文に親しみ、故事成語の果たす役割を考える。	・指導事項 語句の意味 訓読法 故事成語 ・教材 「先從媿始」（十八史略）	○	○	○	・古典に用いられている語句の意味や用法を理解している。 ・訓読の決まりについて理解を深めている。 ・構成や展開などを的確に捉え、もの見方や考え方を深めている。 ・進んで漢文の読み方を確認し、故事成語の果たす役割について考えようとしている。	○	○	○	5
定期考査						○	○	○	1
C 単元 歌物語（伊勢物語） 【知識及び技能】 語句の意味や用法、作品の背景となる知識を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 古文特有の表現に注意して内容を的確に捉える。 【学びに向かう力、人間性等】 登場人物の行動の意図に関心をもち、作品に現れているもの見方、感じ方、考え方を読み取ろうとする。	・指導事項 歌物語 語句の意味 和歌の修辭 古典常識 ・教材 「狩りの使ひ」（伊勢物語）	○	○	○	・古典に用いられている語句の意味や用法を理解している。 ・古典常識の知識を活用して、場面や展開を的確に捉えている。 ・古典特有の表現に注意して内容を的確に捉えている。 ・歌物語の構成を的確に捉え、和歌の内容や登場人物の意図について考えようとしている。 ・登場人物の行動の意図に関心をもち、作品に現れているもの見方、感じ方、考え方を読み取ろうとしている。	○	○	○	10
D 単元 小話（十八史略） 【知識及び技能】 語句の意味や用法を理解し、訓読法を復習する。 【思考力、判断力、表現力等】 構成や展開を捉え、もの見方、考え方を深める。 【学びに向かう力、人間性等】 漢文に親しみ、故事成語の果たす役割を考える。	・指導事項 語句の意味 訓読法 故事成語 ・教材 「完璧帰趙」（十八史略）	○	○	○	・古典に用いられている語句の意味や用法を理解している。 ・訓読の決まりについて理解を深めている。 ・構成や展開などを的確に捉え、もの見方や考え方を深めている。 ・進んで漢文の読み方を確認し、故事成語の果たす役割について考えようとしている。	○	○	○	6
E 単元 随筆（枕草子） 【知識及び技能】 語句の意味や用法、敬語法について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 書き手の考えや意図を捉えて内容を解釈する。 【学びに向かう力、人間性等】 作品の内容をもとに、平安時代の後宮生活について考えを深めようとする。	・指導事項 『枕草子』の文学史 日記的章段の理解 敬語法 ・教材 「中納言参り給ひて」（枕草子）	○	○	○	・古典に用いられている語句の意味や用法を理解している。 ・古文の敬語法を学び、敬語の種類や意味、敬意の方向について理解している。 ・古典特有の表現に注意して内容を的確に捉えている。 ・登場人物の心情や作者の心情を理解し、平安時代の後宮生活について考えを深めようとしている。	○	○	○	8
定期考査						○	○	○	1

1
学
期

2 学 期	F 単元 隨筆（徒然草） 【知識及び技能】 文の成分の照応、文章の構成や展開の仕方について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 特有の表現に注意して、書き手の考えや意図を捉えて内容を的確に解釈する。 【学びに向かう力、人間性等】 作者の主張について理解し、ものの見方、考え方、感じ方を深める。	・指導事項 語句の意味 論理構成（対比） ・教材 「花は盛りに」（徒然草）	○	○	○	・古典に用いられている語句の意味や用法を理解している。 ・文の成分の照応や、対比の関係に注意して内容を的確に捉えている。 ・特有の表現に注意して、書き手の考えや意図を捉えて内容を的確に解釈する。 ・作者の主張について理解し、自身のものの見方、感じ方、考え方を深めようとしている。	○	○	○	6
	G 単元 史記 【知識及び技能】 語句の意味や用法を理解し、訓読法を理解する。 先人のものの見方、感じ方、考え方に親しむ。 【思考力、判断力、表現力等】 成立した背景を踏まえながら作品を読み、自分の考えを深める。 【学びに向かう力、人間性等】 『史記』に関心をもって調べ、調べたことを工夫してまとめる。	・指導事項 語句の意味 訓読法 『史記』の文学史 ・教材 「鴻門之会」（史記） ・一人1 台端末活用	○	○	○	・古典に用いられている語句の意味や用法を理解し、訓読の決まりについて理解を深めている。 ・先人のものの見方、感じ方、考え方に親しもうとしている。 ・時代背景をふまえて、作品の構成や展開などを的確に捉えて読もうとしている。 ・『史記』に関心をもって調べ、調べたことを工夫してわかりやすくまとめようとしている。	○	○	○	7
	H 単元 日記文学（更級日記・蜻蛉日記） 【知識及び技能】 語句の意味や用法、文章の構成や展開の仕方について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 日記文学の性質を踏まえて、書き手の考えや意図を捉えて内容を的確に解釈する。 【学びに向かう力、人間性等】 女流日記文学について理解し、作者の置かれた境遇や心情を読み取る。	・指導事項 日記文学 古典常識 ・教材 「門出」（更級日記） 「なげきつつひとり寝る夜」（蜻蛉日記）	○	○	○	・古典に用いられている語句の意味や用法を理解している。 ・古典特有の表現に注意して内容を的確に捉えている。 ・日記文学の性質を踏まえて、書き手の考えや意図を捉えて内容を的確に解釈している。 ・女流日記文学について理解し、作者の置かれた境遇や心情を理解し、自身のものの見方、感じ方、考え方を深めようとしている。	○	○	○	7
	定期考査					○	○	○	1	
	I 単元 作り物語（源氏物語） 【知識及び技能】 語句の意味や用法、文章の構成や展開の仕方について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 作品全体の構造を踏まえて、内容を的確に捉える。 【学びに向かう力、人間性等】 登場人物の言動や作品の概要について考察しようとする。	・指導事項 『源氏物語』の文学史 歌語法 和歌の修辞 ・教材 「光源氏の誕生」（源氏物語） 「若紫」（源氏物語）	○	○	○	・古典に用いられている語句の意味や用法を理解している。 ・古典常識の知識を活用して、場面や展開を的確に捉えている。 ・作品全体の構造を踏まえて、内容を的確に捉えている。 ・和歌に表れた人物の心情を的確に捉えている。 ・登場人物の言動や話の内容について考察しようとする。	○	○	○	11
	J 単元 近体詩 【知識及び技能】 漢詩の決まりや修辞などの特色について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 作品が成立した背景を踏まえて、作品の解釈を深め、作品について考察する。 【学びに向かう力、人間性等】 漢詩を読み味わい、言語感覚や想像力を豊かにする。	・指導事項 漢詩の決まり 漢詩の文学史 ・教材 「江雪」 「黄鶴楼」 ・一人1 台端末活用	○	○	○	・漢詩の決まりや修辞などの特色について理解している。 ・社会情勢や作者の人生など、作品が成立した背景を理解して作品の解釈を深め、作品について考察している。 ・漢詩の言葉の響きやリズムを読み味わい、言語感覚や想像力を豊かにしている。	○	○	○	5
	K 単元 思想（論語・孟子・老子） 【知識及び技能】 諸子百家の思想とその影響について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 思想の知識を生かして、文章の内容を理解する。 【学びに向かう力、人間性等】 それぞれの思想について、自分自身の考えをまとめる。	・指導事項 儒家思想 道家思想 ・教材 「司馬牛問君子」（論語） 「仁人心也、義人路也」（孟子） 「無用之用」（老子）	○	○	○	・諸子百家の思想の背景とその影響、儒家と道家の思想について理解している。 ・思想に関する知識を生かして、文章の内容を理解している。 ・儒家と道家の思想について、自分自身の考えをまとめている。	○	○	○	6
	定期考査					○	○	○	1	

翔陽 高等学校 令和6年度（2学年用） 教科 国語 科目

教科：国語 科目：国語総合 単位数：2 単位

対象学年組：第2学年 1組～6組 選択者

使用教科書：（東京書籍 文学国語セレクション、いづな書店 三訂版プログレス古典総演習 基本編）

教科 国語 の目標：

- 【知識及び技能】 生涯にわたる社会生活に必要な国語について、その特質を理解し、適切に使うことができるようにする。
- 【思考力、判断力、表現力等】 生涯にわたる社会生活における他者との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を伸ばす。
- 【学びに向かう力、人間性等】 言葉のもつ価値への認識を深めるとともに、言語感覚を磨き、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、生涯にわたり国語を尊重してその能力の向上を図る態度を養う。

科目 国語総合 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。	深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたり出来るようにする。	言葉が持つ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域		評価規準	知	思	態	配当 時数
			話・聞	書 読					
1 学 期	A 単元 古典演習 【知識及び技能】 ・ 語句や用法について基礎的な知識を理解する。 ・ 漢文の訓読法について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・ 古文の随筆を読み、内容を理解する。 【学びに向かう力、人間性等】 主体的に課題に取り組み、理解と考えを深めようとしている。	・ 指導事項 歴史的仮名遣い、品詞、用言の活用について復習。 漢文の訓読について復習。 知識を活用して古文や漢文を読む。 ・ 教材 プログレス古典総演習	○	○	・ 古典に用いられている語句の意味や用法を理解している。 ・ 古文の随筆を読み、古文特有の表現や内容を理解している。 ・ 古典読解を通して、ものの見方や感じ方に主体的に関わり、理解を深めようとしている。 ・ 漢文に用いられる語句の意味や句形、用法を理解している。 ・ 漢文の文章構成や展開、主題を的確に捉えることができる。 ・ 主体的に漢文の読み方を確認し、作品の作られた時代背景や役割について考えようとしている。	○	○	○	4
	B 単元 近代の文学（小説） 【知識及び技能】 ・ 言葉の持つ、心情を豊かにする働きや、文学的な文章における文体の特徴について理解する。 ・ 読書の意義と効用について理解を深める。 【思考力、判断力、表現力等】 ・ 語り手の視点や場面の設定、表現について理解する。 ・ 作品の内容や解釈を踏まえ、ものの見方、感じ方、考え方を深める。 【学びに向かう力、人間性等】 言葉を通して深く共感したり想像したりしながら他者と伝え合い、自分の思いや考えを深める。	・ 指導事項 作者について。 物語の設定。 人物像および人物関係。 場面展開と登場人物の心情の変化。 比喩表現や象徴表現。 漢文訓読調の文体と漢詩。 ・ 教材 中島敦「山月記」 ・ 一人1 台端末の活用	○	○	・ 辞書を活用しながら語句の意味を理解できている。 ・ 作者についての知識と理解を深めている。 ・ 心情を豊かに表す言葉を理解できている。 ・ 文体の特徴や場面展開を理解し、作品の構成を把握できている。 ・ 主人公の心情の変化を捉えることができる。 ・ 作品のテーマや、象徴される表現について理解し、ものの見方や考え方を深めることができる。 ・ 作品を通して感じたことや考えたことを感想にまとめ、他者と伝え合うことができる。	○	○	○	6
	定期考査					○	○		1
	C 単元 古典演習 【知識及び技能】 ・ 語句や用法について基礎的な知識を理解する。 ・ 漢文の訓読法について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・ 古文の随筆を読み、内容を理解する。 【学びに向かう力、人間性等】 主体的に課題に取り組み、理解と考えを深めようとしている。	・ 指導事項 歴史的仮名遣い、品詞、用言の活用について復習。 漢文の訓読について復習。 知識を活用して古文や漢文を読む。 ・ 教材 プログレス古典総演習	○	○	・ 古典に用いられている語句の意味や用法を理解している。 ・ 古文の随筆を読み、古文特有の表現や内容を理解している。 ・ 古典読解を通して、ものの見方や感じ方に主体的に関わり、理解を深めようとしている。 ・ 漢文に用いられる語句の意味や句形、用法を理解している。 ・ 漢文の文章構成や展開、主題を的確に捉えることができる。 ・ 主体的に漢文の読み方を確認し、作品の作られた時代背景や役割について考えようとしている。	○	○	○	6
D 単元 文学（小説） 【知識及び技能】 ・ 言葉の持つ、心情を豊かにする働きや、文学的な文章における文体の特徴について理解する。 ・ 読書の意義と効用について理解を深める。 【思考力、判断力、表現力等】 ・ 語り手の視点や場面の設定、表現について理解する。 ・ 作品の内容や解釈を踏まえ、ものの見方、感じ方、考え方を深める。 【学びに向かう力、人間性等】 言葉を通して深く共感したり想像したりしながら他者と伝え合い、自分の思いや考えを深める。	・ 指導事項 エッセイ文の読み方。 筆者の主張。 ・ 教材 温又柔「国語から旅立って」 ・ 一人1 台端末の活用	○	○	・ 辞書を活用しながら語句の意味を理解できている。 ・ 心情を豊かに表す言葉を理解できている。 ・ 作品の構成を把握できている。 ・ 作品のテーマや、象徴される表現について理解し、ものの見方や考え方を深めることができる。 ・ 作品を通して感じたことや考えたことを感想にまとめ、他者と伝え合うことができる。	○	○	○	8	
定期考査					○	○		1	

翔陽 高等学校 令和6年度（3学年用） 教科 国語 科目 論理国語

教科：国語 科目：論理国語 単位数：2 単位

対象学年組：第3学年 1組～6組

使用教科書：（東京書籍 精選論理国語）

教科 国語 の目標：

【知識及び技能】生涯にわたる社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使うことができるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】生涯にわたる社会生活における他者との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を伸ばす。

【学びに向かう力、人間性等】言葉のもつ価値への認識を深めるとともに、言語感覚を磨き、我が国の言語文化の担い手としての自覚を持ち、生涯にわたり国語を尊重してその能力の向上を図る態度を養う。

科目 論理国語 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
実社会に必要な国語の知識や技能を身につけるようにする。	論理的、批判的に考える力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域			評価規準	知	思	態	配当 時数
			話・聞	書	読					
1 学 期	A 単元 評論読解 【知識及び技能】 文章の効果的な組立て方や接続の仕方について理解を深める。 記号論について理解を深める。 近代の意味について理解を深める。 【思考力、判断力、表現力等】 内容や構成、論理の展開などを的確に捉え、論点を把握し、よみとった内容を適切に表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 主体的に課題に取り組み、考えを深めようとする。	・指導事項 表現の特徴 筆者の主張 記号論 ・教材 「言語と記号」丸山圭三郎 「環境問題と孤立した個人」河野哲也 ・小テスト2回実施	○	○	○	・表現の特徴に注意して評論を読むことが出来ている。 ・筆者の主張や考えを的確に捉えることが出来ている。 ・読み取った内容を文にまとめて表現することができる。 ・記号論や近代の問題について理解できている。 ・語彙の知識をもとに、適切に漢字を書くことが出来る。	○	○	○	6
	B 単元 問題演習 【知識及び技能】 漢字や語句の意味や使われ方について理解を深める。 【思考力、判断力、表現力等】 内容や構成、論理の展開などを的確に捉え、論点を把握する。 本文の内容をもとに、論理的に思考し、推論する。 【学びに向かう力、人間性等】 大学入試を意識して、主体的に演習に取り組む。	・指導事項 漢字・語句の意味 読み比べ 筆者の主張 選択肢の吟味 ・教材 共通テスト対策問題演習		○	○	・漢字や語句の意味について理解できている。 ・表現の特徴に注意して評論を読むことが出来ている。 ・筆者の主張や考えを的確に捉えることが出来ている。 ・読み取った内容を応用して、適切に選択肢を吟味することができる。	○	○	○	3
	定期考査						○	○	○	1
	C 単元 評論読解と比較 【知識及び技能】 論証や学術的学習の基礎を学ぶために必要な語句の量を増し、語感を磨き語彙を豊かにする。 【思考力、判断力、表現力等】 文章の構成や論理の展開を理解し、書き手の立場や目的を考えながら内容を解釈する。 【学びに向かう力、人間性等】 身体論や歴史論について自分の考えを深めようとする。	・指導事項 表現の特徴 筆者の主張 論理の展開 身体論 歴史論 ・教材 「読み書きする身体」港千尋 「原始社会の真実」新納泉 ・小テスト2回実施	○	○	○	・論理の展開を的確に捉え、論点を明確にしながら要旨を把握している。 ・筆者の主張を読み取り、身体論・歴史論について考えを深めようとしている。 ・読み取った内容を文にまとめて表現することができる。 ・語彙の知識をもとに、適切に漢字を書くことが出来る。	○	○	○	8
	D 単元 問題演習 【知識及び技能】 漢字や語句の意味や使われ方について理解を深める。 データの読み取りについて理解を深める。 【思考力、判断力、表現力等】 内容や構成、論理の展開などを的確に捉え、論点を把握する。 本文の内容をもとに、論理的に思考し、推論する。 【学びに向かう力、人間性等】 大学入試を意識して、主体的に演習に取り組む。	・指導事項 実用文とデータの読み取り 漢字・語句の意味 読み比べ 筆者の主張 選択肢の吟味 ・教材 図表の読み取り方（教科書コラム） 共通テスト対策問題演習		○	○	・データと文章の比較をして読み取ることが出来る。 ・漢字や語句の意味について理解できている。 ・表現の特徴に注意して評論を読むことが出来ている。 ・筆者の主張や考えを的確に捉えることが出来ている。 ・読み取った内容を応用して、適切に選択肢を吟味することができる。	○	○	○	6
定期考査						○	○	○	1	

翔陽 高等学校 令和6年度（3学年用） 教科 国語 科目 現代文学

教科：国語 科目：現代文学 単位数：2 単位

対象学年組：第3学年 1組～6組

使用教科書：（東京書籍 精選言語文化）

教科 国語 の目標：

【知識及び技能】生涯にわたる社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使うことができるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】生涯にわたる社会生活における他者との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を伸ばす。

【学びに向かう力、人間性等】言葉のもつ価値への認識を深めるとともに、言語感覚を磨き、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、生涯にわたり国語を尊重してその能力の向上を図る態度を養う。

科目 現代文学 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようにする。	深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域			評価規準	知	思	態	配当 時数
		話・聞	書	読					
A 単元 短歌抄・俳句抄 【知識及び技能】 語句の意味や用法、作品の背景となる知識を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 短歌と俳句の特徴と表現効果を理解し、言葉に込められた情景や心情を読み取る。 【学びに向かう力、人間性等】 定型詩に関する既習事項を生かし主体的に学習に取り組み、読解と鑑賞を行う。	・指導事項 定型詩に関する知識 作品の背景 文学史的事項 修辞を中心とした読解と鑑賞 ・教材 「短歌抄」「俳句抄」		○	○	・言葉には、文化の継承、発展、創造を支える働きがあることを理解している。 ・我が国の言語文化に特徴的な語句の量を増し、それらの文化的背景について理解を深め、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基的に確に捉えている。 ・「読むこと」において、文章の構成や展開、表現の仕方、表現の特色について評価している。 進んで短歌や俳句の特徴や表現効果を理解し、学習課題に沿って、それぞれの歌に込められた情景や心情を読み取ろうとしている。	○	○	○	5
B 単元 あいだ 【知識及び技能】 散文詩の文学史的位置と作品の背景を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 詩に込められた作者の心情を理解し、人と人との関係の在り方について考える。 【学びに向かう力、人間性等】 散文詩に関する既習事項を生かし主体的に学習に取り組み、読解と鑑賞を行う。	・指導事項 散文詩に関する知識 作品の背景 文学史的事項 表現を中心とした心情の読解と鑑賞 ・教材 「あいだ」		○	○	・言葉には、文化の継承、発展、創造を支える働きがあることを理解している。 ・我が国の言語文化に特徴的な語句の量を増し、それらの文化的背景について理解を深め、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基的に確に捉えている。 ・「読むこと」において、作品や文章に表れているもの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈している。 進んで散文詩を読み味わい、学習課題に沿って、詩や題名に込められた作者の思いについて考えようとしている。	○	○	○	3
定期考査						○	○		1
1 学期 C 単元 富嶽百景 【知識及び技能】 語句の意味や用法、作品の背景となる知識を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・主人公の心情の変化と、富士山や周囲の人々についての描写に注意して、小説を読み味わう。 【学びに向かう力、人間性等】 小説に関する既習事項を生かし主体的に学習に取り組み、読解と鑑賞を行う。	・指導事項 語句の意味 作品の背景 表現に即した読解と交流による深化 ・教材 富嶽百景	○	○	○	・言葉には、文化の継承、発展、創造を支える働きがあることを理解している。 ・常用漢字の読みに慣れ、主な常用漢字を書き、文や文章の中で使っている。 ・我が国の言語文化に特徴的な語句の量を増し、それらの文化的背景について理解を深め、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 ・文章の意味は、文脈の中で形成されることを理解している。 ・我が国の言語文化の特質や我が国の文化と外国の文化との関係について理解している。 ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基的に確に捉えている。 ・「読むこと」において、作品や文章の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえ、内容の解釈を深めている。 ・「読むこと」において、作品の内容や解釈を踏まえ、自分のもの見方、感じ方、考え方を深め、我が国の言語文化について自分の考えをもっている。 ・進んで本文の内容や構成、展開などを捉え、学習課題に沿って、主人公の心情の変化と、富士山や周囲の人々についての描写に注意して、小説を読み味わおうとしている。	○	○	○	8

翔陽 高等学校 令和6年度（3学年用） 教科 国語 科目 古典読解演習

教科：国語 科目：古典読解演習 単位数：2 単位

対象学年組：第 3 学年 2 組～ 6 組

使用教科書：（東京書籍 精選古典探究 古文編・漢文編）

使用教材：（いっぴな書店「三訂版プログレス古文総演習標準編」、尚文出版「三訂新版共通テスト対策古典完答22」等

教科 国語 の目標：

【知識及び技能】生涯にわたる社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使うことができるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】生涯にわたる社会生活における他者との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を伸ばす。

【学びに向かう力、人間性等】言葉のもつ価値への認識を深めるとともに、言語感覚を磨き、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、生涯にわたり国語を尊重してその能力の向上を図る態度を養う。

科目 古典読解演習 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の伝統的な言語文化に対する理解を深めることができるようにする。	論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、古典などを通じた先人のものの見方、感じ方、考え方との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の考えを広げたり深めたりすることができるようにする。	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって古典に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域			評価規準	知	思	態	配当 時数
		話・聞	書	読					
A 単元 説話（宇治拾遺物語） 【知識及び技能】 語句の意味や用法、作品の背景となる知識を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 古文特有の表現に注意して内容を的確に捉える。 【学びに向かう力、人間性等】 古典常識の知識を生かして、場面や心情を考える。	・指導事項 語句の意味 用言の復習 古典常識 ・教材 「伴大納言、応天門を焼くこと」（宇治拾遺物語）	○	○	○	・古典に用いられている語句の意味や用法を理解している。 ・古典常識の知識を活用して、場面や心情を的確に捉えている。 ・古典特有の表現に注意して内容を的確に捉えている。 ・和歌の内容を適切に理解し、和歌を詠んだ人物の心情について考えようとしている。	○	○	○	2
B 単元 問題演習 【知識及び技能】 古文の基礎知識を復習する。 【思考力、判断力、表現力等】 古文の知識を生かして、内容を理解し、本文の内容をもとに問題について考える。 【学びに向かう力、人間性等】 主体的に演習に取り組む。 協働的な学習活動を通じて、積極的に議論し、理解を深める。	・指導事項 語句の意味 助動詞の確認 古典文法の知識 古典常識 ・教材 「プログレス古文」	○	○	○	・古典に用いられている語句の意味や用法を理解している。 ・古典文法等の基礎知識を復習し、実践的に活用している。 ・漢文の訓読法や句形について理解を深めている。 ・古典常識や基礎知識を生かして本文の内容を理解し、問題演習に取り組んでいる。 ・読み取った内容をもとに、記述の解答をまとめたり、選択肢を吟味したりしている。	○	○	○	8
中間考査						○	○	○	1
1 学期 C 単元 問題演習 【知識及び技能】 語句の意味や用法、作品の背景となる知識を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 古文特有の表現に注意して内容を的確に捉える。 会話文中に会話文が引用された構造を理解し、人物の心情や意図に注目して、作品に現れたものの見方、感じ方、考え方を読み取る。 【学びに向かう力、人間性等】 主体的に演習に取り組む。	・指導事項 助動詞の確認 語句の意味 和歌の修辞 古典常識 ・教材 「プログレス古文」 「共通テスト対策古典完答22」	○	○	○	・古典に用いられている語句の意味や用法を理解している。 ・古典常識の知識を活用して、会話の内容や展開を的確に捉えている。 ・古文特有の表現に注意して内容を的確に捉えている。 ・会話文の構成を的確に捉え、和歌の内容や人物の意図について考えようとしている。 ・登場人物の意図に関心をもち、作品に現れているものの見方、感じ方、考え方を読み取るうとしている。	○	○	○	10
期末考査						○	○	○	1
D 単元 問題演習 【知識及び技能】 語句の意味や用法を理解し、訓読法を復習する。 諸子百家の思想について復習する。 【思考力、判断力、表現力等】 構成や展開を捉え、ものの見方、考え方を深める。 【学びに向かう力、人間性等】 漢文に親しみ、諸子百家の思想の果たした役割を考える。	・指導事項 道家の思想 法家の思想 語句の意味 訓読法 ・教材 「共通テスト対策古典完答22」	○	○	○	・古典に用いられている語句の意味や用法を理解している。 ・訓読の決まりについて理解を深めている。 ・道家思想、法家思想について理解している。 ・構成や展開などを的確に捉え、ものの見方や考え方を深めている。 ・進んで漢文の読み方を確認し、諸子百家の思想の果たした役割について考えようとしている。	○	○	○	6

2 学 期	E 単元 入試問題演習 (大鏡) 【知識及び技能】 語句の意味や用法、構成や展開の仕方について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 作品全体の構造を踏まえて、内容を的確に理解する。 【学びに向かう力、人間性等】 人物の行動やその意図について理解し、もの見方、考え方、感じ方を深める。	・指導事項 語句の意味 敬語の確認 歴史物語の文学史の復習 古典文法の知識 古典常識 ・教材 「プログレス古文」	○	○	○	・古典に用いられている語句の意味や用法を理解している。 ・古典常識の知識を活用して、会話の内容や展開を的確に捉えている。 ・古文特有の表現に注意して内容を的確に捉えている。 ・読み取った内容をもとに、人物の意図や関係性について考えようとしている。	○	○	○	6
	F 単元 問題演習 【知識及び技能】 古文・漢文の基礎知識を復習する。 【思考力、判断力、表現力等】 古文・漢文の知識を生かして、内容を理解し、本文の内容をもとに問題について考える。 【学びに向かう力、人間性等】 大学入試を意識して、主体的に演習に取り組む。 協働的な学習活動を通じて、積極的に議論し、理解を深める。	・指導事項 語句の意味 古典文法の知識 漢文訓読法、句形等の知識 古典常識 ・教材 「共通テスト対策古典完答22」	○	○	○	・古典に用いられている語句の意味や用法を理解している。 ・漢文の訓読法や句形について理解を深めている。 ・古典常識や基礎知識を生かして本文の内容を理解し、問題演習に取り組んでいる。 ・読み取った内容をもとに、記述の解答をまとめたり、選択肢を吟味したりしている。	○	○	○	6
	中間考査						○	○	○	1
	G 単元 問題演習 【知識及び技能】 語句の意味や用法、作品の背景となる知識を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 古文特有の表現に注意して内容を的確に捉える。 会話文中に会話文が引用された構造を理解し、人物の心情や意図に注目して、作品に現れたもの見方、感じ方、考え方を読み取る。 【学びに向かう力、人間性等】 主体的に演習に取り組む。	・指導事項 敬語の確認 語句の意味 和歌の修辞 古典常識 ・教材 「プログレス古文」	○	○	○	・古典に用いられている語句の意味や用法を理解している。 ・古典常識の知識を活用して、会話の内容や展開を的確に捉えている。 ・古文特有の表現に注意して内容を的確に捉えている。 ・会話文の構成を的確に捉え、和歌の内容や人物の意図について考えようとしている。 ・登場人物の意図に関心をもち、作品に現れているもの見方、感じ方、考え方を読み取るようとしている。	○	○	○	8
	H 単元 問題演習 【知識及び技能】 古文・漢文の基礎知識を復習する。 【思考力、判断力、表現力等】 古文・漢文の知識を生かして、内容を理解し、本文の内容をもとに問題について考える。 【学びに向かう力、人間性等】 大学入試を意識して、主体的に演習に取り組む。	・指導事項 語句の意味 古典文法の知識 漢文訓読法、句形等の知識 古典常識 ・教材 「共通テスト対策古典完答22」		○	○	・古典に用いられている語句の意味や用法を理解している。 ・漢文の訓読法や句形について理解を深めている。 ・古典常識や基礎知識を生かして本文の内容を理解し、問題演習に取り組んでいる。 ・読み取った内容をもとに、記述の解答をまとめたり、選択肢を吟味したりしている。	○	○	○	4
期末考査						○	○	○	1	
3 学 期	I 単元 大学入試共通テスト対策問題演習 【知識及び技能】 古文・漢文の基礎知識を復習する。 【思考力、判断力、表現力等】 古文・漢文の知識を生かして、内容を理解し、本文の内容をもとに問題について考え、選択肢を吟味する。 【学びに向かう力、人間性等】 大学入学共通テストを意識して、主体的に演習に取り組む。	・指導事項 語句の意味 古典文法の知識 漢文訓読法、句形等の知識 古典常識 ・教材 大学入試過去問題演習 (古文・漢文)		○	○	・古典に用いられている語句の意味や用法を理解している。 ・漢文の訓読法や句形について理解を深めている。 ・古典常識や基礎知識を生かして本文の内容を理解し、問題演習に取り組んでいる。 ・読み取った内容をもとに、適切に選択肢を吟味している。	○	○	○	6
	J 単元 大学入試対策個別指導 【知識及び技能】 古文・漢文の知識を復習する。 【思考力、判断力、表現力等】 古文・漢文の知識を生かして、内容を理解し、本文の内容をもとに問題について考える。 【学びに向かう力、人間性等】 大学入試を意識して、主体的に取り組む。	・指導事項 語句の意味 古典文法の知識 漢文訓読法、句形等の知識 古典常識 ・教材 大学入試過去問演習 (古文・漢文)		○	○	・古典に用いられている語句の意味や用法を理解している。 ・漢文の訓読法や句形について理解を深めている。 ・古典常識や基礎知識を生かして本文の内容を理解し、問題演習に取り組んでいる。 ・読み取った内容をもとに、記述の解答をまとめたり、選択肢を吟味したりしている。	○	○	○	10
合計										
70										

翔陽 高等学校 令和6年度(3学年用) 教科 国語 科目 古典読解演習

教科: 国語 科目: 古典読解演習 単位数: 4 単位

対象学年組: 第 3 学年 2 組～ 6 組

使用教科書: (東京書籍 精選古典探究 古文編・漢文編)

教科 国語 の目標:

- 【知識及び技能】生涯にわたる社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使うことができるようにする。
- 【思考力、判断力、表現力等】生涯にわたる社会生活における他者との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を伸ばす。
- 【学びに向かう力、人間性等】言葉のもつ価値への認識を深めるとともに、言語感覚を磨き、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、生涯にわたり国語を尊重してその能力の向上を図る態度を養う。

科目 古典読解演習 の目標:

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の伝統的な言語文化に対する理解を深めることができるようにする。	論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、古典などを通して先人のものの見方、感じ方、考え方との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の考えを広げたり深めたりすることができるようにする。	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって古典に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域			評価規準	知	思	態	配当 時数
		話・聞	書	読					
A 単元 日記(紫式部日記) 【知識及び技能】 語句の意味や用法、作品の背景となる知識を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 古文特有の表現に注意して内容を的確に捉える。 【学びに向かう力、人間性等】 古典常識の知識を生かして、場面や心情を考える。	・指導事項 語句の意味 助動詞の復習 和歌の修辞 古典常識 ・教材 「女郎花」(紫式部日記)	○	○	○	・古典に用いられている語句の意味や用法を理解している。 ・古典常識の知識を活用して、場面や心情を的確に捉えている。 ・古典特有の表現に注意して内容を的確に捉えている。 ・和歌の内容を適切に理解し、和歌を詠んだ人物の心情について考えようとしている。	○	○	○	4
B 単元 古詩(杜工部集) 【知識及び技能】 語句の意味や用法を理解し、訓読法を復習する。 古詩の構成について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 構成や展開を捉え、ものの見方、考え方を深める。 【学びに向かう力、人間性等】 漢文に親しみ、古詩の構成やさまりの知識をもとに人物の心情や当時の社会情勢を考える。	・指導事項 語句の意味 訓読法 漢詩のさまり(古詩) ・教材 「石壕吏」(杜甫)	○	○	○	・古典に用いられている語句の意味や用法を理解している。 ・訓読の決まりについて理解を深めている。 ・詩の構成や展開などを的確に捉え、ものの見方や考え方を深めている。 ・進んで漢文の読み方を確認し、当時の社会情勢や人々の生活について考えようとしている。	○	○	○	4
C 単元 問題演習 【知識及び技能】 古文・漢文の基礎知識を復習する。 【思考力、判断力、表現力等】 古文・漢文の知識を生かして、内容を理解し、本文の内容をもとに問題について考える。 【学びに向かう力、人間性等】 大学入試を意識して、主体的に演習に取り組む。 協働的な学習活動を通じて、積極的に議論し、理解を深める。	・指導事項 語句の意味 古典文法の知識 漢文訓読法、句形等の知識 古典常識 ・教材 大学入試対策問題演習 共通テスト対策問題演習	○	○	○	・古典に用いられている語句の意味や用法を理解している。 ・古典文法等の基礎知識を復習し、実践的に活用している。 ・漢文の訓読法や句形について理解を深めている。 ・古典常識や基礎知識を生かして本文の内容を理解し、問題演習に取り組んでいる。 ・読み取った内容をもとに、記述の解答をまとめたり、選択肢を吟味したりしている。	○	○	○	17
定期考査						○	○	○	1

1 学期	D 単元 評論（無名抄） 【知識及び技能】 語句の意味や用法、作品の背景となる知識を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 古文特有の表現に注意して内容を的確に捉える。 会話文中に会話文が引用された構造を理解し、人物の心情や意図に注目して、作品に現れたものの見方、感じ方、考え方を読み取る。 【学びに向かう力、人間性等】 当時の社会における和歌の役割や意義に関心を持って学習に取り組む。	・指導事項 歌論 語句の意味 和歌の修辞 古典常識 ・教材 「おもて歌のこと」（無名抄）	○	○	○	○	○	○	4
	E 単元 思想（老子・韓非子） 【知識及び技能】 語句の意味や用法を理解し、訓読法を復習する。 諸子百家の思想について復習する。 【思考力、判断力、表現力等】 構成や展開を捉え、ものの見方、考え方を深める。 【学びに向かう力、人間性等】 漢文に親しみ、諸子百家の思想の果たした役割を考える。	・指導事項 道家の思想 法家の思想 語句の意味 訓読法 ・教材 「天下莫柔弱於水」（老子） 「無為之治」（老子） 「侵官之害」（韓非子）	○	○	○	○	○	○	6
	F 単元 問題演習 【知識及び技能】 古文・漢文の基礎知識を復習する。 【思考力、判断力、表現力等】 古文・漢文の知識を生かして、内容を理解し、本文の内容をもとに問題について考える。 【学びに向かう力、人間性等】 大学入試を意識して、主体的に演習に取り組む。 協働的な学習活動を通じて、積極的に議論し、理解を深める。	・指導事項 語句の意味 古典文法の知識 漢文訓読法、句形等の知識 古典常識 ・教材 大学入試対策問題演習 共通テスト対策問題演習	○	○	○	○	○	○	17
	定期考査					○	○	○	1
2 学期	G 単元 歴史物語（大鏡） 【知識及び技能】 語句の意味や用法、構成や展開の仕方について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 作品全体の構造を踏まえて、内容を的確に理解する。 【学びに向かう力、人間性等】 人物の行動やその意図について理解し、ものの見方、考え方、感じ方を深める。	・指導事項 語句の意味 歴史物語の文学史の復習 古典文法の知識 古典常識 ・教材 「道長、伊周の競射」（大鏡）	○	○	○	○	○	○	4
	H 単元 小説（太平広記） 【知識及び技能】 伝奇小説について理解する。 語句の意味や用法を理解し、訓読法を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 成立した背景を踏まえながら作品を読み、物語の展開を追って、人物の意図や心情について理解を深める。 【学びに向かう力、人間性等】 唐代伝奇小説に関心をもって学習に取り組む。	・指導事項 語句の意味 訓読法 句形・重要語の復習 唐代伝奇小説の文学史 ・教材 「離魂記」（陳玄祐）	○	○	○	○	○	○	4
	I 単元 問題演習 【知識及び技能】 古文・漢文の基礎知識を復習する。 【思考力、判断力、表現力等】 古文・漢文の知識を生かして、内容を理解し、本文の内容をもとに問題について考える。 【学びに向かう力、人間性等】 大学入試を意識して、主体的に演習に取り組む。 協働的な学習活動を通じて、積極的に議論し、理解を深める。	・指導事項 語句の意味 古典文法の知識 漢文訓読法、句形等の知識 古典常識 ・教材 大学入試対策問題演習 共通テスト対策問題演習	○	○	○	○	○	○	18
	定期考査					○	○	○	1

